

## 令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金 活用事業について

### 1 交付金の概要

#### 【交付金の名称】

- ・ デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）
- ・ デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）

#### 【事業概要】

地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な事業を支援するもの

#### 【対象事業】

デジタルの活用などによる観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組や拠点施設の整備

#### <具体例>

しごと創生（中小企業等の生産性向上、空き店舗対策、観光振興等）  
地方への人の流れ（移住促進、生涯活躍のまち等）  
働き方改革（若者雇用対策、ワークライフバランスの実現等）  
まちづくり（小さな拠点等）

#### 【資金の流れ】

国 ———— 交付金(1/2) ————> 地方公共団体

#### 【事業実施数及び交付実績額】

採択事業 : 8事業

交付決定額 : 403,027,000円

(地方創生推進タイプ 287,758,000円、拠点整備タイプ 115,269,000円)

### 2 実績の評価

P D C Aサイクルにより事業を推進するため、毎年度、外部組織による効果検証を実施することとされている。

■評価対象事業一覧

	交付金の名称	交付対象事業の名称	事業の概要(令和5年度)	総事業費(円)	交付決定額(円)
1		域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代型スマートホール(=多目的ホール)の特性を生かしたMICE等の開催を支援</li> <li>産業交流スペースによる5G等未来技術の活用支援及びDX導入促進を目指した産業支援の機能強化</li> <li>AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業</li> <li>アカデミーハウス次世代人材育成推進事業</li> <li>新たなモビリティサービス調査・実証事業等</li> </ul>	142,690,393	73,593,000
2		多様な主体が連携した「やまぐち創生テレワーク」×「山口型ワーケーション」×「地域づくり」の広域的・一体的な推進による移住・還流促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源を活かしたワーケーションプログラムの開発・商品化</li> <li>オーダーメイドワーケーションプログラム</li> <li>ワーケーション等と連携した湯田温泉ならではの着地型体験プラン商品等造成支援</li> <li>ワーケーションプランプロモーション</li> <li>テレワーク(ワーケーション)環境整備事業</li> </ul>	10,894,848	7,000,000
3		次世代へつなぐ商店街づくり加速化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存ストックを活用したまちの再生</li> <li>商店街組織がマンションの1階部分を買取り、サブリースして運営する事業に対する内装費の補助</li> <li>求心力のある商業・業務エリアの形成による生産性の向上</li> <li>「稼ぐ力」の向上につながる勉強会やセミナー等の開催や、広報紙発行やwebサイト、SNS等による情報発信など</li> <li>中心商店街の新たな価値創出によるまちの活性化</li> <li>山口井筒屋2階の「コトサイト」の運営、新たな来街者を呼び込むためのイベント開催や情報発信に対する支援など</li> </ul>	55,017,006	43,231,000
4	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	人生100年時代を楽しむ21の幸せ地域拠点づくり～Jリーグクラブ「レノファ山口」のつなぐ力でスマート”ライフ”シティづくり～	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロスポーツの集客力等を生かした全世代交流事業の実施</li> <li>健康分野や教育分野に関わる企業、医療機関、大学、プロスポーツチーム等と連携した健康づくり事業の実施</li> <li>市民参加による地域の愛着醸成に寄与する事業</li> <li>デジタル技術を活用した多世代交流事業の実施や地域情報の発信</li> <li>地域や企業が主体となった地域活性化事業の実施</li> <li>事業実施に向けた地域人材の育成</li> </ul>	20,000,000	10,000,000
5		女性活躍推進を軸とした誰もが輝ける多様な環境づくり重点プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性人材の掘り起こし・女性が輝き活躍できる場の創出</li> <li>女性従業員向けステップアップセミナー、男性の育児休業や家事・育児の参画促進啓発セミナー等開催</li> <li>多様な働く場の創出によるインクルーシブな社会の実現</li> <li>離職者向け、就職氷河期世代向けセミナーの開催、企業に対する従業員スキルアップのための研修費等の支援</li> <li>働き方改革やデジタル化を契機とした柔軟な働き方促進と企業の生産性向上</li> <li>企業向け多様な働き方の導入等をテーマとしたセミナー、中小企業大学校サテライトゼミセミナーの開催</li> </ul>	18,744,048	10,600,000
6		関係人口の創出による農山漁村エリア活性化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源を活用した交流人口の拡大</li> <li>地域資源を活用した美食ツアーや歴史探訪ツアー、アウトドアツアーリズム、その他イベントの開催支援など</li> <li>関係人口の創出、移住定住の取組による持続可能な農山村エリアの形成</li> <li>関係案内人の育成や地域の関わりしるの体験プログラムの開催など</li> <li>農林水産業の振興</li> <li>スマート農機導入に向けた支援、やまのいもや椎茸など担い手育成に向けた取組への支援など</li> </ul>	116,737,000	58,368,000
7		「山口ゆめ回廊」観光を基軸とした交流価値共創プロジェクト～観光交流から移住・定住へ～	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい生活様式や行動様式等社会変化に対応した持続可能な新たな交流の創造</li> <li>新しい生活様式や行動様式等社会変化に対応した新たな人流創出</li> <li>KDDI維新ホール等を活用した新たな交流創出</li> <li>住んでよし、訪れてよしの観光地域づくりを通じた多様な交流創造事業</li> <li>インバウンド誘客から創出する「まちの賑わい」創出事業</li> </ul>	169,933,000	84,966,000
合 計				534,016,295	287,758,000
1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)	徳地地域活性化プロジェクト「重源の郷体験交流公園」整備計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>重源の郷体験交流公園における中心的な施設「庄屋」の改修整備</li> <li>「庄屋」に近接する釣り堀横建屋の改修整備</li> <li>花木等の景観の再整備</li> <li>Wi-Fi環境の整備</li> </ul>	231,924,141	115,269,000
合 計				231,924,141	115,269,000

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ及び地方創生拠点整備タイプ)  
事業報告書(令和5年度実施分)

交付対象事業の名称(地方創生推進タイプ)		担当課	頁
1	域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業	-	1
	・産業交流拠点施設管理運営事業	ふるさと産業振興課	
	・産業交流スペース管理運営事業	ふるさと産業振興課	
	・山口観光コンベンション協会助成事業	観光交流課	
	・新産業創出促進事業	ふるさと産業振興課	
	・デジタル技術活用・人材育成事業	ふるさと産業振興課	
	・新たなモビリティサービス調査・実証事業	交通政策課	
	・交通政策推進事業	交通政策課	
	・シェアサイクル実証事業	交通政策課	
2	多様な主体が連携した「やまぐち創生テレワーク」×「山口型ワーケーション」×「地域づくり」の広域的・一体的な推進による移住・還流促進事業	-	4
	・関係人口創出促進事業	農山村づくり推進課	
	・湯田温泉魅力創造事業	観光交流課	
3	次世代へつなぐ商店街づくり加速化プロジェクト	-	7
	・中心市街地活性化対策事業	中心市街地活性化推進室	
	・中心市街地活性化計画推進事業	中心市街地活性化推進室	
	・中心市街地まちなみの魅力向上支援事業	中心市街地活性化推進室	
	・にぎわいのまち支援事業	中心市街地活性化推進室	
	・人が集い賑わいのある商店街づくり支援事業	中心市街地活性化推進室	
4	人生100年時代を楽しむ21の幸せ地域拠点づくり ～Jリーグクラブ「レノファ山口」のつなぐ力でスマート”ライフ”シティづくり～	-	10
	・(仮称)湯田温泉パーク整備事業	湯田温泉パーク整備推進室	
5	女性活躍推進を軸とした誰もが輝ける多様な職場づくり重点プロジェクト	-	17
	・働く女性の活躍応援事業	ふるさと産業振興課	
	・人材確保企業重点支援事業	ふるさと産業振興課	
	・特定求職者雇用促進事業	ふるさと産業振興課	
	・働き方改革推進事業	ふるさと産業振興課	
6	関係人口の創出による農山漁村エリア活性化プロジェクト	-	22
	・重源の郷管理運営業務	観光交流課	
	・地域資源活用事業	農山村づくり推進課	
	・仁保の郷整備事業	農山村づくり推進課	
	・都市農村交流推進事業	農業振興課	
	・農山村ビジネス創出支援事業	農山村づくり推進課	
	・関係人口創出促進事業	農山村づくり推進課	
	・地域の個性を活かす交付金事業	協働推進課	
	・農山村にぎわい創出事業	農山村づくり推進課	
	・やまぐち定住実現プロモーション事業	農山村づくり推進課	
	・空き家利活用事業	農山村づくり推進課	
	・空き家活用地域活性化事業	農山村づくり推進課	
	・スマート農業推進事業	農業振興課	
	・特用林産物担い手育成支援事業、地域特産物流通支援事業	徳地総合支所農林課	
	・中山間地域野菜増産モデル事業	阿東総合支所農林課	
7	「山口ゆめ回廊」観光を基軸とした交流価値共創プロジェクト ～観光交流から移住・定住へ～	-	27
	・「山口ゆめ回廊」つなぎ創る未来共創事業	観光交流課	
	・観光維新ブランド創出事業	観光交流課	
	・観光プロモーション事業	観光交流課	
	・観光地ビジネス創出事業	観光交流課	
	・フィルムコミッション推進事業	観光交流課	
	・都市間ツーリズム促進事業	観光交流課	
	・ふるさとと産品営業推進事業	ふるさと産業振興課	
	・インバウンド観光誘客推進事業	観光交流課	
交付対象事業の名称(地方創生拠点整備タイプ)		担当課	頁
1	徳地地域活性化プロジェクト「重源の郷体験交流公園」整備計画	-	33
	・重源の郷施設改修事業	観光交流課	

# 域外から稼ぐ力を生み出す「新たな産業・交流拠点」づくり推進事業

## 1 事業の概要

所管課	商工振興部ふるさと産業振興課	計画期間	令和2年4月 - 令和7年3月
交付金の種類	デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ)	単独事業と 広域事業の別	広域 (山口県、山口市、萩市、長門市)
基本目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成	基本目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる
具体的な施策	元気な県都づくり	具体的な施策	元気な県都づくり
具体的な取組	広域県央中核都市づくり	具体的な取組	文化・観光・スポーツ資源を活用した交流創出
基本目標	便利で豊かな創造社会の構築	基本目標	便利で豊かな創造社会の構築
具体的な施策	持続可能な未来都市づくり	具体的な施策	持続可能な未来都市づくり
具体的な取組	デジタル技術の活用推進(DX)	具体的な取組	未来を担う人材育成(HX)
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>令和3年度に供用開始した「山口市産業交流拠点施設」を核に、交流人口の拡大、ヘルスケアやモビリティサービスなどの新産業の創出支援、DX導入促進などの産業支援機能強化、人材育成などの取組を一体的に進めることにより、地域のブランド力の向上や、若者・女性に魅力あるサービス分野での雇用の場の創出を図る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■次世代型スマートホール(=多目的ホール)の運営</li> <li>・スマートホールの特性を生かしたMICE等の開催を支援</li> <li>■産業交流スペースによる5G等未来技術の活用支援及びDX導入促進を 目指した産業支援の機能強化</li> <li>・産業交流スペースにおいて、起業・創業支援や中小企業支援、DX導入支 援等を実施</li> <li>・デジタル人材の発掘や育成等を実施</li> <li>■AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業(県への負担金)</li> <li>・「やまぐちヘルスケア関連産業推進協議会」の運営</li> <li>・「やまぐちヘルスラボ」を設置し、企業が行うヘルスケア関連製品・サービ スの事業化を支援</li> <li>・令和4年度に引き続き、島津製作所等6者合意に基づく地域コホート研究 事業を実施(阿知須地域)</li> <li>■アカデミーハウス次世代人材育成推進事業</li> <li>・哲学ベース時間共有型キャリア開発「P.C.Tプログラム」を実施</li> <li>■新たなモビリティサービス調査・実証事業</li> <li>・新たなモビリティサービスの需要の検証及び実証実験を実施</li> </ul>	
事業の概要(経費内訳)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代型スマートホール(=多目的ホール)の特性を生かした MICE等の開催を支援(13,304千円)</li> <li>・産業交流スペースによる5G等未来技術の活用支援及びDX導入 促進を目指した産業支援の機能強化(59,297千円)</li> <li>・AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業(11,407千 円)</li> <li>・アカデミーハウス次世代人材育成推進事業(31,803千円)</li> <li>・新たなモビリティサービス調査・実証事業等(26,881千円)</li> </ul>			

## 2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

### (1)KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和4年度)	実績値(増分) (令和5年度)	目標値(増分) (令和5年度)
①	本取組等の効果による事業化件数	件	0	15	7	11
②	施設利用者数(年間) ※次世代型スマートホール、ライフィノバージョン ラボ、アカデミーハウス等	人	0	348,844	373,403	357,000
③	本取組等による実証事業の実施件数 (ヘルスケア関連産業創出事業)	件	0	1	1	3
④	本取組等による実証事業の実施件数 (新たなモビリティサービス調査・実証事業)	件	0	5	4	4

### (2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由	産業交流拠点施設は、開館から2年が経過したことで認知度も上がり、施設を起点とした新たなにぎわいのや産業の創出につながっている。 また、新たなモビリティサービスについては、観光利用のみならず、日常生活の移動の選択肢が広がり、一定程度の市内回遊が促された。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから、取組の追加等、更に発展させる。	理由	産業交流拠点施設を更に活用し、新たな産業・雇用の創出につなげ、交流人口の増大などによる地域経済の活性化を図るため、引き続き、利用者の更なる獲得に向けた取組や、長期的な視点での新たな施設需要の拡大等に着手につなげる取組を実施していく。

「域外から稼ぐ力を生み出す『新たな産業・交流拠点』づくり推進事業」の概要

【次世代型スマートホール(=多目的ホール)の運営】

- 広域県央中核都市の実現に向け、県の陸の玄関口にふさわしい「山口県ナンバーワンのビジネス拠点」の形成を図るため、「産業」、「にぎわい」、「生活文化」の3つの創造の視点により整備した「山口市産業交流拠点施設」の管理運営。
- スマートホールの特性を生かした MICE 等の開催を支援

<開催を支援した主な催事>

- ・令和5年6月22日～23日 第57回中国・四国中学校長研究会山口大会
- ・令和5年6月24日 第113回日本神経学会中国・四国地方会
- ・令和5年9月30日 テレビのチカラ中部・北陸・関西・中国地区大会 2023 山口
- ・令和5年10月6日～7日 第31回日本精神科救急学会学術総会
- ・令和5年11月18日～19日 第19回中四国放射線医療技術フォーラム
- ・令和5年11月29日～12月1日 土木学会環境工学委員会第60回環境工学研究フォーラム



【産業交流スペースによる5G等未来技術の活用支援及びDX導入促進を目指した産業支援の機能強化】

- 山口市産業交流拠点施設内に設置した「産業交流スペース」の管理運営。起業・創業支援や中小企業支援を実施し、DX導入による生産性向上や事業承継、新事業創出の支援を行った。
- デジタル技術の活用や人材ネットワークの形成を目的として、企業や大学、エンジニアなどのデジタル人材の発掘や育成、更には、こうした人材が活躍する環境づくりとして、外需獲得及び内需喚起の取組を行い、仕事の創出を図った。



【AI技術等の活用によるヘルスケア関連産業創出事業】(山口県への負担金)

- 県内におけるヘルスケア関連産業の創出・育成の推進母体として産学公で構成される、「やまぐちヘルスケア関連産推進協議会」の運営を行った。
- 企業が行うヘルスケア関連製品・サービスの事業化支援を行う「やまぐちヘルスラボ」において、相談対応(新規相談9事業者、継続相談19件 計28回)やモニター実証支援(2件)、イベント開催(5回)を行った。
- 島津製作所等6者合意に基づく地域コホート研究事業は、令和4年度末で阿知須地域での介入調査は終了し、令和5年度は調査結果のAIデータ解析を行った。



【アカデミーハウス次世代人材育成推進事業】

- 哲学をベースとした時間共有型のキャリア開発「P. C. Tプログラム」としてPBLプログラムやキャリアデザイン、哲学カフェ、スマートキャリアサロン等を実施。地域連携企画では、「小郡ふしの夏まつり」に参加し、イベントの企画から運営を地域の企業や団体と連携しながら行うなど、実践的な活動も展開し、学びを深めた。



【新たなモビリティサービス調査・実証事業】 (別紙)

# 令和5年度 新たなモビリティサービス調査・実証事業



## 事業概要

- 新モビリティサービス実証事業推進協議会(23団体)の運営
- やまぐちMaaS用Webアプリ「ぶらやま」の機能拡充(操作性、デザイン性)
- 新たなビジネスモデルの構築(移動サービスと多様なサービスとの組合せ)
- 実証実験の実施 対象エリア:新山口駅~山口・長門・宇部・美祿エリア  
実験期間:令和5年4月~令和6年3月末まで
- 実験後の効果検証 利用者アンケート及び事業者ヒアリングの実施

## 令和5年度新たなモビリティサービスの実証事業

【令和5年度実証期間】 令和5年4月1日~令和6年3月31日 (通年)

### 長門

【新山口駅~長門市街地の間】  
ジャンボタクシー直行便のデジタルチケット販売

【長門~美祿~山口宇部空港の間】  
宇部空港直通便のデジタルチケットの販売

### 美祿

【山口宇部空港~美祿~長門市の間】  
宇部空港直通便のデジタルチケットの販売

【美祿市街地】  
べんてんリムジン乗車券のデジタルチケットの販売

### 山口 (一部萩エリア含む)

【新山口駅~湯田温泉の間及び市街地】  
のる得きっぷ (3枚綴り、10枚綴り) のデジタルチケットの販売

山口・秋芳洞・秋吉台フリーきっぷのデジタルチケットの販売

ゆけむり手形のデジタルチケットの販売

各種特典付きデジタルチケットの販売

各種イベントと連携したデジタルチケットの販売

レノファ山口と連携したデジタルチケットの販売

シェアサイクルとの連携 (市事業との連携)

カーシェアとの連携 (民間事業との連携)

山口市ノーマイカーデー「つなぐカード」との連携 (市事業との連携) (ほか)

【新山口駅・萩市間】  
スーパードライバーバス乗車券デジタルチケットの販売

### 宇部

【新山口駅~山口宇部空港・宇部新川の間】  
バス乗車券のデジタルチケットの販売

【山口宇部空港~宇部新川の間】  
バス乗車券のデジタルチケットの販売

【宇部市街地】  
1日乗車券のデジタルチケットの販売

【凡例】 公共交通  
 新幹線  
 電車(JR)  
 バス

	令和5年度
サービス提供数	36種
アカウント登録数(累計)	8,979人
デジタルチケット販売枚数	5,131枚
閲覧ユーザー数	38,528
超小型モビリティ利用件数	R4.4.27より民間事業化
電動バイク利用件数	山口観光コンベンション協会での事業実施

## ① デジタルチケットの販売等

- ・バス事業者デジタルチケットの販売 (のる得きっぷ、山口・秋芳フリーきっぷ)
- ・レノファ山口と連携したデジタルチケットの販売
- ・KDDI維新ホールや市内イベント(湯田温泉、中心商店街)と連携したデジタルチケットの販売
- ・デジタル版山口市ノーマイカーデー「つなぐカード」の発行

## ② シェアサイクルとの連携

- ・「ぶらやま」の経路検索とアプリケーションの連携



ノーマイカーデー「つなぐカード」



複合経路検索 (電車やバスだけでなく、シェアサイクルなど様々なモビリティを使った経路検索)

アプリケーションの連携

# 多様な主体が連携した「やまぐち創生テレワーク」×「山口型ワーケーション」×「地域づくり」の広域的・一体的な推進による移住・還流促進事業

## 1 事業の概要

所管課	農林水産部農山村づくり推進課 交流創造部観光交流課	計画期間	令和4年4月 - 令和7年3月
交付金の種類	デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ)	単独事業と 広域事業の別	広域 (山口県、山口市、宇部市、岩国市、長門市、周南市)
基本目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる	基本目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成
具体的な施策	21地域づくりと農山村活性化	具体的な施策	元気な県都づくり
具体的な取組	農山村エリアの地域活性化	具体的な取組	広域県央中核都市づくり
基本目標		基本目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>山口市への移住やワーケーションを希望する県外在住者に、希望に沿ったオーダーメイド型の体験プログラムを提供することで、移住の促進及び関係人口の創出を図る。</p> <p>また、県内最大の宿泊拠点「湯田温泉」への更なる誘客・滞在時間・消費拡大を目指し、コロナ禍で注目された新しい旅行形態を意識した民間主導の商品造成・プロモーションの取組を支援する。</p>		<p>①オーダーメイドワーケーションプログラム 市内の各地域において全9回のワーケーションプログラムを実施し、県外から延べ46名がプログラムに参加</p> <p>②ワーケーション等と連携した湯田温泉ならではの着地型体験プログラム商品等造成支援 県内最大の宿泊拠点「湯田温泉」における更なる交流創出(利用促進、消費拡大、満足度向上)に向けた商品造成等の取組を支援 ・地域事業者と連携した家族向けプラン造成(1本) ・湯田温泉おもてなしセミナー開催支援 ・地元産食材を活用した商品開発(リニューアル)支援</p> <p>③ワーケーションプランプロモーション R4年度に開発した4つのワーケーション・プレジャープランについて、民間事業者と連携し、県内、近隣県、関西圏を中心に誘客プロモーションを展開(19名が参加)</p> <p>④テレワーク(ワーケーション)環境整備事業 民間事業者が、農山村エリアにおいてテレワーク、ワーケーションが対応可能な環境を整備する事業に対し支援(3件) ※農山村エリア…仁保、小鯖、陶、鑄銭司、名田島、秋穂二島、秋穂、徳地、阿東(9地域)</p>	
事業の概要(経費内訳)			
<p>地域資源を活かしたワーケーションプログラムの開発・商品化</p> <p>①オーダーメイドワーケーションプログラム(4,643千円)</p> <p>②ワーケーション等と連携した湯田温泉ならではの着地型体験プラン商品等造成支援(2,500千円)</p> <p>③ワーケーションプランプロモーション(2,500千円)</p> <p>④テレワーク(ワーケーション)環境整備事業(1,252千円)</p>			

## 2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

### (1)KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和4年度)	実績値(増分) (令和5年度)	目標値(増分) (令和5年度)
①	本事業を通じたテレワーク移住者数 (テレワーク移住支援制度活用者数)	人	4	44	72	13
②	本事業で運営する県のテレワーク・ワーケーション拠点施設における県外からの利用者数	人	1,280	3,619	4,191	2,640
③	本事業で進める「やまぐち創生テレワーク」ネットワーク加入者数	施設	22	4	4	3

### (2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由	地域とのつながりを実感できる本市ならではのワーケーションプログラムを提供することで、SNS等での本市の情報発信や定期的に本市を訪れ、イベント等に参加する関係人口の創出を図ることができた。また、新たな観光需要の取り込みを目的として、官民連携による取組が実施できたことは、今後の本市の持続可能な観光地域づくりの更なる推進につながるものとして評価できる。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	引き続き、本市ならではのワーケーションプログラムを提供し、本市のファンの増加や継続的に関わってもらえる人材の発掘等に努める。また、2025年の大阪・関西万博や2026年の山口デザイン・ステーションキャンペーンの開催を見据え、引き続き、官民連携の更なる推進を通じて、多彩な交流から創出される経済効果の波及による地域経済の活性化を目指す。

「多様な主体が連携した  
『やまぐち創生テレワーク』×『山口型ワーケーション』×『地域づくり』の  
広域的・一体的な推進による移住・還流促進事業」の概要

●オーダーメイドワーケーションプログラム

山口市への移住やワーケーションを希望する県外在住者に、希望に沿うオーダーメイド型の体験プログラムを提供し、移住の促進及び関係人口の創出を図った。(全9回、計46名参加)

日程	名称	体験内容(抜粋)	参加者数
6月1日～4日	徳地地域プログラム	石風呂焚き、虫観賞	4名
8月17日～23日	阿東地域プログラム①(親子対象)	バンパーバイク、キッチンカー体験	7名
9月22日～25日	南部エリアプログラム①	セーリング、サイクリング	4名
11月19日～23日	阿東地域プログラム②(企業対象)	電動草刈り機検証、地域課題検証	7名
11月28日～30日	阿東地域プログラム③	農業体験、林業学習	2名
12月16日～19日	南部エリアプログラム②	木工体験、地域散策	4名
1月15日～17日	阿東地域プログラム④	羊毛フェルト体験、移動販売体験	4名
2月22日～25日	仁保地域プログラム	こんにゃくづくり、竹紙づくり	5名
3月8日～10日	湯田温泉エリアプログラム	足湯体験、地域課題検証	9名



●湯田温泉ならではの着地型体験プログラム造成

① 湯田温泉でのワーケーション、ブレジャー(平日ワーク、週末家族を呼んでのレジャー)を意識した週末家族で楽しめる湯田温泉プランの造成

■家族でステイ ご長寿お祝いプラン造成

還暦や古希など、人生の節目である長寿を湯田温泉で迎える方々を対象に、湯田で過ごした時間をより良い思い出として残していただくことを目的として、似顔絵づくりをご提案する冊子を制作。

似顔絵を描いていただく方には、山口市出身の漫画家・さかもとみゆき氏を起用。

地元の漫画家によるオーダーメイド制作という、独自性ならびに特別感のあるギフトプランを造成することができた。



THE GIFT  
山口市出身の漫画家・さかもとみゆき氏によるオーダーメイド制作という、独自性ならびに特別感のあるギフトプランを造成することができた。

## ② 湯田温泉おもてなしセミナーの開催支援

湯田温泉地域の観光まちづくりの推進及びシビックプライドの醸成を図るため、地域住民を含む多様な関係者を対象とした「おもてなしセミナー」の開催支援を実施。

開催日時：令和5年11月28日(火)13:00～15:00

場 所：湯田地域交流センター 2階大会議室

テ ー マ：シビックプライド、私たちの湯田温泉

講 師：株式会社湯田温泉研究所研究員

株式会社コア 相談役 濱田 泰 氏



## ③ 観光消費拡大(地元産食材を使った商品開発)支援

ヘルシーな米粉を使用し、市内の洋菓子店と共同開発した「湯田狐福」。コロナ禍、製造・販売を縮小していた同商品のリニューアルに向け、試作及び新規デザイン制作を行った。

なお、試作品については、味や食感、価格等に関するモニター調査を実施した。(対象:前述のワーケーションプラン参加者)

## ●ワーケーション・ブレイジャープランのプロモーション

令和4年度に開発したワーケーションプランの周知を図るとともに、県内及び近隣県、関西圏を中心に誘客プロモーションを展開した。実施にあたっては、福利厚生代行業者が有するメディアを活用し、松田屋ホテル、ホテルニュータナカ、ホテル喜良久、ビジネスホテルうえのにて実施し、計 19 名の方が参加した。

### 【ワーケーションプラン】

- ・松田屋ホテル(令和5年1月29日(2名)、2月5日(2名))  
維新の叡智と英気を養う、館内巡りツアーセットプラン
- ・ホテル喜良久(令和5年2月1日(3名)、29日(2名))  
温泉宿でとことんテレワークプラン
- ・ホテルニュータナカ(令和5年1月25日(2名)、26日(3名)、30日(2名)、2月14日(2名))  
業績と羽を伸ばす、温泉宿でチームビルディングプラン
- ・ビジネスホテルうえの(令和5年1月9日(1名))  
温泉宿でおこもりステイ応援プラン

## ●テレワーク(ワーケーション)環境整備事業

都市部等からの企業や個人の関係人口、二地域居住者を積極的に呼び込むことを目的として、民間事業者が農山村エリアでテレワーク、ワーケーションが対応可能な環境を整備する事業に対して支援を行った。(テレワーク施設1件<阿東地域>、ワーケーション施設 2 件<鑄銭司地域、徳地地域>)



# 次世代へつなぐ商店街づくり加速化プロジェクト

## 1 事業の概要

所管課	商工振興部中心市街地活性化推進室	計画期間	令和3年4月 - 令和8年3月
交付金の種類	デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ)	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
基本目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成	基本目標	
具体的な施策	元気な県都づくり	具体的な施策	
具体的な取組	広域県央中核都市づくり	具体的な取組	
基本目標		基本目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>(1)既存ストックを活用したまちの再生 まちづくり事業者が商店街関係者等と連携し、遊休不動産の再生を進め、効果的にエリア価値の向上を図る。</p> <p>(2)求心力のある商業・業務エリアの形成による生産性の向上 デジタル技術の活用等とともに、中心商店街全体の生産性を向上を図り経済基盤を強化する。</p> <p>(3)中心商店街の新たな価値創出によるまちの活性化 商業活動に限らない多様な活動の支援を通じ、中心商店街を「豊かな生活を支える場」としていくことで、新たな需要や来街者を生み出し、恒常的な賑わいの創出と回遊性の向上を図る。</p>		<p>(1)既存ストックを活用したまちの再生 ・店舗の連続性の確保に向けて、商店街組織がマンションの1階部分を商業床として買い取り、賑わいの創出に資する店舗としてサブリースして運営する事業に対して、内装費の一部を補助した。</p> <p>(2)求心力のある商業・業務エリアの形成による生産性の向上 ・「稼ぐ力」の向上につながる勉強会やセミナー等を開催した。また、中心市街地活性化に関する取組について、広報紙の発行やwebサイト、SNS等により、広く市民に情報発信を行った。</p> <p>(3)中心商店街の新たな価値創出によるまちの活性化 ・山口井筒屋2階に地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」を運営し、市内の魅力ある特産品の販売・情報発信や、主に子ども向けのイベントやアクティビティの提供を行った。</p> <p>・「VIVISTOP YAMAGUCHI」の運営を通じて、中心商店街全体を活動のフィールドとし、子どもたちがものづくりを通じて地域とつながる活動を行った。</p> <p>・新たなヤマグチブランド創出のための取組に対する支援を行った。</p> <p>・中心商店街に「創業」を体験できるチャレンジショップを開設した。</p> <p>・新たな来街者を呼び込むためのイベント開催や情報発信、中心商店街におけるイベント等に対する支援を行った。</p>	
事業の概要(経費内訳)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地まちなみの魅力向上支援事業(1,324千円)</li> <li>・中心商店街稼ぐ力向上支援事業(1,987千円)</li> <li>・中心商店街情報発信事業(2,000千円)</li> <li>・多様性あふれる商店街推進事業(18,000千円)</li> <li>・まちなかクリエイティブフィールド事業(17,800千円)</li> <li>・ヤマグチブランド創出事業(1,115千円)</li> <li>・まちなか起業創業促進事業(5,494千円)</li> <li>・中心商店街賑わい創出事業(7,297千円)</li> </ul>			

## 2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

### (1)KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和4年度)	実績値(増分) (令和5年度)	目標値(増分) (令和5年度)
①	中心商店街に新規出店した店舗の1日当たりの平均来店者数合計	人	0	338	258	496
②	中心商店街の来街者数(平日・イベントのない休日平均)	人	34,700	-549	-2,436	520
③	商店街滞在時間(1時間30分)以上の割合	%	39.8	6.1	-0.5	1.7

### (2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由	中心市街地まちなみの魅力向上支援事業により、商店街の百貨店隣の商店街の魅力を支える敷地が店舗として維持できている。また、多様性あふれる商店街推進事業において、百貨店内の空きスペースを有効に活用できており、子育て世代の来店が増え、賑わいを生み出している。さらに、まちなかクリエイティブフィールド事業では、商店街の空き店舗で子どもたちがものづくりの活動を通じて地域とつながる拠点ができており、子どもたちがリピーターとなっている。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	中心商店街活性化に向けた取組については、効果の発現に時間を要するため、一過性の取組にならないように、積み重ねと発展が求められるため。

## 「次世代へつなぐ商店街づくり加速化プロジェクト」の概要

### (1) 既存ストックを活用したまちの再生

#### ① 中心市街地まちなみの魅力向上支援事業

店舗の連続性の確保に向けて、商店街組織がマンションの1階部分を商業床として買い取り、賑わいの創出に資する店舗としてサブリースして運営する事業に対して、内装費の一部を支援しました。



### (2) 求心力のある商業・業務エリアの形成による生産性の向上

#### ① 中心商店街稼働力向上支援事業

中心商店街全体の「稼働力」の向上に向けて、店繁盛店創出プロジェクトとして、実際の店舗改善を実施しました。

【日時】令和5年7月、8月、10月、11月、12月

【会場】参加店現地

【参加者】4店舗



#### ② 中心商店街情報発信事業

情報誌「くるーニャッ! やまぐち」の発行やwebサイト、SNS等により、中心市街地における市の事業や新規オープンした店舗等に関する情報を発信しました。

### (3) 中心商店街の新たな価値創出によるまちの活性化

#### ① 多様性あふれる商店街推進事業

山口井筒屋2階の地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」を運営しました。常時300冊の絵本や、市内産の木育玩具で遊ぶことができ、約60坪の人工芝の広場では、下記のとおり多彩なイベントを行いました。また、地域の魅力発信コーナーでは、山口市内を中心とした特色ある商品の展示・販売を行いました。

○事業実施スペースの賃貸、設備設置等

○施設運営およびイベント等の実施

・赤ちゃんハイハイレース

・ママ叶

・コトもの体験会

・コトサイト塾

・市内21地域交流イベント

・山口学生芸術祭



#### ② まちなかクリエイティブフィールド事業

道場門前の「VIVISTOP YAMAGUCHI」において、中心商店街全体を活動のフィールドとし、子ども達がものづくりを通じて地域とつながる活動を行いました。

### ③ヤマグチブランド創出事業

新たなヤマグチブランド創出のため、商工会議所が主催する Chocofuror Yamaguchi!チョコレート事業への補助金を交付しました。補助金を活用して、冬のチョコレート祭りの開催、中心商店街のチョコレート模様のパナントによる装飾等が行われました。



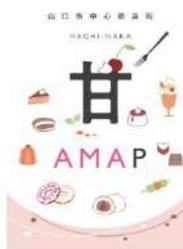
### ④まちなか起業創業促進事業

中心商店街の mirai365内に、まちなか起業に向けて若い創業者等が集い繋がる場、また、「創業」を体験できるチャレンジショップを開設しました。

### ⑤中心商店街賑わい創出事業

新たな来街者を呼び込み、商店街全体の集客に結びつけるため、百貨店や美術館、高等学校等と連携し、賑わいの創出、回遊性の向上を図るイベントの実施や情報発信を行いました。

- ・中心商店街「甘」マップ作成
- ・第4回山口まちゼミ(11/1~11/30)
- ・おいでーね!やまぐちしょっぷ!  
山口井筒屋チャレンジショップ(毎月第1日曜)
- ・動画による魅力発信事業
- ・明日花シングルカフェ
- ・山農マルシェ(12/16)
- ・山口県立美術館ジブリパークとジブリ展連携事業  
(7/15~9/24)
- ・山口県立美術館 HEART 連携事業



### ⑥中心商店街を舞台としたイベント等実施主体に対する支援(補助事業)

- ・コメコメマルシェ(米屋町商店街)
- ・100円商店街(西門前商店街)
- ・山口祇園祭「女みこし」(山口市商店街連合会)
- ・山口クラフトマルシェ(山口クラフトマルシェ実行委員会)
- ・こめこめフェスティバル
- ・結人祭(中市商店街)
- ・どうもんフェスティバル(道場門前商店街)
- ・チョコフロールやまぐち!! in 中心商店街
- ・ハロウィン仮装コンテスト(サークルセブン)



# 人生100年時代を楽しむ21の幸せ地域拠点づくり ～Jリーグクラブ「レノファ山口」のつなぐ力でスマート”ライブ”シティづくり～

## 1 事業の概要

所管課	交流創造部湯田温泉パーク整備推進室	計画期間	令和3年4月 - 令和8年3月
交付金の種類	デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ)	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
基本目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成	基本目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成
具体的な施策	21地域づくりと農山村活性化	具体的な施策	人生100年時代の元気活躍のまちづくり
具体的な取組	個性と安心の21地域づくり	具体的な取組	健康都市づくりの推進
基本目標		基本目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>プロサッカークラブ「レノファ山口FC」が持つ集客力や多くのスポンサー企業等の民間企業とのつながり、また、県内における知名度や影響力など、プロスポーツクラブならではのリソースを活用し、人生100年時代において、市内全21地域が住み慣れた地域住民にとって心身共に健康で、生きがいをもって楽しく暮らし続けることができるまちとなるよう、各地域で多様で持続可能な事業展開が可能となる仕組みづくりを行うとともに、市内21地域と企業を結び付け、自立し、自走できる21地域ごとの幸せコンテンツを構築する。</p>		<p>◆プロスポーツの集客力等を生かした全世代交流事業の実施 ・大学生が中心となり、レノファ山口FCのホームゲームで足湯を体験しながら試合観戦する企画を試験的に行い、実施後のアンケートも実施。 ・令和4年度に大学生が湯田温泉の新しい特産品として発案したコーヒー牛乳を、地域団体や企業等と連携してお土産で持ち帰れるように商品開発。 ◆健康分野や教育分野に関わる企業、地元医療機関、大学、プロスポーツチーム等と連携した健康づくり事業の実施 ・高齢者や子育て世代を対象に温泉を活用した健康づくり「湯田温泉ヘルスラボ事業」の実施。</p>	
事業の概要(経費内訳)		<p>◆市民参加による地域の愛着醸成に寄与する事業 ・レノファ山口FCのマスコットキャラクターである「レノ丸」を活用して地域の愛着を深めるために、各地域の「ご当地レノ丸」を製作 市内5地域(小郡、大殿、大歳、秋穂、仁保) ◆デジタル技術を活用した多世代交流事業の実施や地域情報の発信 ・市内2地域(小郡、秋穂)でレノファ山口FCのアウェイ戦のパブリックビューイングを実施。 ・湯田地域での取組のPR動画を作成し、市公式ウェブサイト等で発信。 ◆地域や企業が主体となった地域活性化事業の実施 ・地域の若者と企業が集まり、令和7年度に供用開始予定の「湯田温泉パーク」を活用した共創アイデアを創出する対話セッションを実施。 ・企業と連携による地域の若者を中心としたクリスマスイベントの実施 ◆事業実施に向けた地域人材の育成 ・湯田地域のプロジェクトのメンバーの人材育成の一環として、東京虎ノ門ARCHでのフューチャーセッション及び「下北線街路」の視察を実施。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロスポーツの集客力等を生かした全世代交流事業の実施(5,000千円)</li> <li>・健康分野や教育分野に関わる企業、地元医療機関、大学、プロスポーツチーム等と連携した健康づくり事業の実施(5,000千円)</li> <li>・市民参加による地域の愛着醸成に寄与する事業(3,000千円)</li> <li>・デジタル技術を活用した多世代交流事業の実施や地域情報の発信(2,000千円)</li> <li>・地域や企業が主体となった地域活性化事業の実施(4,000千円)</li> <li>・事業実施に向けた地域人材の育成(1,000千円)</li> </ul>			

## 2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

### (1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和4年度)	実績値(増分) (令和5年度)	目標値(増分) (令和5年度)
①	地域行事や市民活動に年1回以上参加している市民の割合	%	54.2	6.8	2.3	1.5
②	本事業を実施する地域の増加数	地域	0	0	7	11
③	本事業に参画する企業数	件	0	14	25	21
④	本事業を通じた健康づくり等のプログラムへの参加者数	人	0	315	2,065	2,100

### (2) 評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由	本事業を実施する地域や、参画する企業、プログラム参加者数が増え、コミュニティの形成が進んでいるため。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	令和7年度完成予定の「湯田温泉パーク」での事業展開を見据え、湯田地域を中心に、レノファ山口のリソースを活用し、企業等との連携による若者を主体とした地域活性化の取組を進める中で、持続可能な事業展開に向けた仕組みづくりを進める。引き続き、他地域でも企業等と連携した持続可能な事業に発展させていけるよう、地域や企業等の意見を伺いながら事業を進めていく。

「人生100年時代を楽しむ21の幸せ地域拠点づくり  
～Jリーグクラブ『レノファ山口』のつなぐ力でスマート“ライフ”シティづくり～」の概要

1 事業構想に基づく事業実施

地域課題解決に向けて、レノファ山口のリソースを活用して、市民が主体となって、地域や企業等の連携により、多様で持続可能な事業展開を可能とする公民連携プラットフォームを構築するため、令和4年度に開催した地域や企業等と連携による若者を中心としたワークショップ等での意見などを踏まえ、下記のような構想を策定した。まずは、大学生を始めとした若者が集まりやすい湯田地域を中心に取組を進め、その後、こうした取組を市内21地域に展開していく。

<事業構想>



市内21地域での展開を目指す

●プロスポーツの集客力等を生かした全世代交流事業の実施

- ① レノファ山口ホームゲーム時における足湯シート実施（7月22日、維新みらい心スタジアム、参加者135人）

湯田温泉を多くの方に知ってもらうために、山口大学経済学部観光政策学科の学生が中心となり、レノファ山口FCのホームゲームで足湯を体験しながら試合観戦する企画を試験的に実施した。また、今後の展開の参考とすべく、スタジアムを訪れた方へ足湯シートに関するアンケート調査を実施した。



## ② 「mill」プロジェクト

山口大学経済学部観光政策学科の 2 人の学生が発案した、コーヒー牛乳を湯田温泉の新しい名物とするプロジェクトで、令和4年度に、湯田の地域おこし協力隊 2 人とともに、Nishida Coffee、(株)秋川牧園の協力のもと、コーヒー牛乳の開発を行った。今年度は、湯田温泉白狐まつりやレノファ山口 FC のホームゲームで販売するとともに、お土産として持ち帰りができるように、地域団体、企業等と連携しながらコーヒーベースの開発を行い、「湯田温泉 milk 珈琲」という名前で製品化した。



## ●健康分野や教育分野に携わる企業、地元医療機関、地元大学、プロスポーツチーム等と連携した健康づくり事業の実施

### ① 湯田温泉ヘルスラボ事業

湯田温泉旅館協同組合と「NPO 法人山口ヘルスプロモーション」と連携し、湯田温泉ヘルスラボ事業を実施した。これは、足湯に浸かって心身を温めた後、スポーツクラブ運動指導者による運動や、保健師による食事・栄養講話、脳トレを行い、健康効果の測定を行うプログラムで、70～80代の高齢者を対象に約5か月にわたり実施し、延べ366人の参加があった。(令和5年10月5日～令和6年2月29日 全22回)

また、「NPO 法人あっと」と連携し、託児を設置し、親子で子育て世代同士の交流が楽しめるような場づくりを行う温活プログラムを実施し、延べ44人の参加があった。(令和5年11月1日～12月6日 全5回)



## ●市民参画による地域の愛着醸成に寄与する事業

### ① 市内21地域におけるご当地レノ丸の作成

本事業構想の市内21地域への展開に向けて、まずは、各地域とレノファ山口との関係性を構築するとともに、レノファ山口 FC のリソースを活用して地域の愛着を高めるため、地域の特色を生かした「レノ丸(※)」、いわゆる「ご当地レノ丸」を製作した。各地域住民が参画する中で、市内9地域で取り組むこととしており、令和5年度は、5地域(小郡、大殿、大歳、秋穂、仁保)で完成した。

(※)レノファ山口 FC のマスコットキャラクター



小 郡



大 殿



大 歳



秋 穂



仁 保

## ●デジタル技術を活用した多世代交流事業の実施や地域情報の発信

### ① 各地域でのパブリックビューイングの実施

多世代交流事業として、市内2地域(小郡、秋穂)で、オンライン配信によるレノファ山口 FC のアウェイ戦のパブリックビューイングを行い、子どもから高齢者まで約300人が参加した。

(小郡地域交流センター:8月30日 参加者:200人 大海総合センター:8月12日 参加者:100人)



小郡地域  
(約200人参加)



秋穂地域  
(約100人参加)

### ② SNS やウェブページを活用した情報発信

これまで本事業で行ってきた湯田地域での取組を発信するための動画を作成し、市ウェブサイトやレノファ山口 FC のホームゲーム等で発信するとともに、ご当地レノ丸を活用して、各地域が SNS やウェブページ等において地域情報を発信した。



<https://youtu.be/yBlhzJuleEM?feature=shared>

## 2 地域における活躍の場づくり

湯田地域をモデル地域として、地域住民と企業が事業の担い手となり、主体的に地域で活躍できるような取組を展開するとともに、持続的な事業展開が可能となるように地域人材の育成を図る。

### ●地域や企業が主体となった地域活性化事業の実施

#### ① 湯田温泉パークリビングラボセッションの実施（8月22日、参加者数：61人）

地域の「若者」×「企業」の力を掛け合わせ、令和7年4月に供用開始される湯田温泉パークを活用した共創アイデアを創出する対話セッションを実施した。



#### Future Sessions

##### チームのアイデア

- ・ **山口 vs OOのグルメ対決**
  - ・ レノファの試合をきっかけに、対戦相手とのコラボをする。お酒やキャラなど、名産品を試合会場などで楽しめるようにする。
  - ・ →レノファ内山さん：全然実現可能
- ・ **大人は叶わなかった夢を、子供は叶えたい夢を。**
  - ・ 「知る職」という体験イベントと連携し、具体化していく。
- ・ **スポーツと食**
  - ・ 足湯ブランドサッカーを考えた。水深10cmくらいのコートでサイレントで戦う。狐のお面をかぶってプレイ。ボールを蹴ると水の音がする。
- ・ **狐を身近に（シネマダイニング、映像作成）**
  - ・ 冬の寒中、足湯につかりながらパフェを頼むと、上から狐のアニメーションが流れる。映像が終わった後は、パフェが完成するというシネマダイニングの手法を活用する。作品は山口の外にも発信していく。湯田温泉のリソースを結集してコンテンツを作る。
- ・ **白狐手形でまち歩き**
  - ・ 白狐手形をお祭りで実験的に販売。持っている人は3店舗回って温泉に入れるし、飲食店の割引もできる。湯田温泉パークに集まり、周辺の温浴施設に波及できる仕組みにしたい。
  - ・ →山口市 田中さん：やりましょう。
- ・ **狐の仮面舞踏会**
  - ・ 狐のお面をつけて、初対面でも恥ずかしくない。湯田温泉パークでお面を作るところからスタート。お面をつけて、昼だとうどんを食べてみたり、夜には手持ち花火を遊ぶ。冬は寒いので、お面をつけながら足湯で温まる。店舗にも協力してもらい、油揚げ系の商品も増やしていく。
- ・ **湯田温泉名物グルメづくり**
  - ・ レノファ山口のリソースを活用する。住民、観光客、周辺の飲食店が三方よしになる。井上公園にレノファの選手に来てもらい、誰もが参加できるフットサル大会を開催。周りに飲食店を招待し、各店舗にレノファ選手がアンバサダーになり、誘致を強化。店舗に対して投票もすることで、上位は2月の開幕戦には出店企業として誘致される。
  - ・ →レノファ内山さん：実現しましょう。

## ② 企業と連携による地域の若者を中心としたクリスマスイベントの開催

日本のクリスマスの発祥の地 山口市において、企業や地域等の協力をもとに集めたペットボトルを活用したクリスマスツリーや、イルミネーションの設置、ミニクリスマスマーケットなど、地域の大学生が企画、運営するクリスマスイベントを実施した。(12月18日～12月22日、場所:湯の香通り、参加者総数:719人)



## ●事業実施に向けた地域人材の育成

### ① 虎ノ門 ARCH でのフューチャーセッション及び「下北線路街」の視察の実施(5月17～18日)

湯田地域のプロジェクトで中心的な役割を担っている地域おこし協力隊及び大学生の人材育成の一環として、東京虎ノ門 ARCH に入居する新規事業ビジネスパーソン等と、持続可能な取組に向けた対話セッションを実施した。また、地域の方々が自由にイベントを開催し、楽しく参加できる仕掛けづくりを行うなど、地域を巻き込んだまちづくりを行っている「下北線路街」のフィールドワークを実施した。

#### 5月17日(水)「下北線路街」のフィールドワーク



#### 5月18日(木) 虎ノ門 ARCH でのフューチャーセッション



# 女性活躍推進を軸とした誰もが輝ける多様な職場づくり重点プロジェクト

## 1 事業の概要

所管課	商工振興部ふるさと産業振興課	計画期間	令和4年4月 - 令和7年3月
交付金の種類	デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ)	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
基本目標	誰もが安心して働くことのできる「しごと」をつくる	基本目標	誰もが安心して働くことのできる「しごと」をつくる
具体的な施策	産業活力・地域雇用を創出する「働く・企業なら山口」	具体的な施策	若者活躍と雇用創出の環境づくり
具体的な取組	多様な働き方の創出による人材確保	具体的な取組	働きやすい職場環境づくりと未来を担う人材育成
基本目標		基本目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>山口県連携都市圏域の構成市町を含めたあらゆる事業者参画のもと、就労環境の向上に向けた取組を促進し、多様な人材が活躍できる場づくりを進める。</p> <p>また、女性を始め、高齢者や障がい者、就職氷河期世代に対する啓発や実効的なスキルアップ支援を併せて行うことで、就労者それぞれの実情に応じて就労できる環境、すなわち、誰もが働きたいと感じる職場環境等の構築を図る。</p> <p>特に、若年、子育て世代、女性の社会進出を積極的に推進することで、地域の担い手の確保や若者の雇用創出につなげていく。</p>		<p>(1)女性人材の掘り起こし・女性が輝き活躍できる場を創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●働く女性の活躍応援事業</li> <li>●女性が活躍できる環境支援事業として、企業向け中小企業の意識改革セミナー、女性従業員向けステップアップセミナーの実施</li> <li>●未就労者向け多様な働き方や働く場を学ぶセミナーの実施</li> <li>●男性の育児休業取得や家事・育児の参画促進を啓発するセミナー</li> <li>●女性の採用・活躍を積極的に推進する事業者を支援する「女性活躍職場環境改善助成金」</li> </ul> <p>(2)多様な働く場の創出によるインクルーシブな社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人材確保企業支援事業</li> <li>●企業向け採用に係るセミナー、離職者向け就活リスタートセミナー、就職氷河期世代向け就活スキルアップセミナー、就職マッチング面談会の実施</li> <li>●高齢者活用のための人材確保支援事業</li> <li>●55歳以上の高齢者が活躍することを支援するセカンドライフ応援セミナーや企業との交流会の開催</li> <li>●従業員スキルアップのための研修費等を支援する「山口市中小企業人材育成応援補助金」</li> <li>●人材確保のためのサイト運営事業</li> <li>●企業の採用に係る情報発信のサイト構築補助する「山口市中小企業採用情報Web発信事業費補助金」</li> <li>●やまぐちしごと応援サイト運営事業</li> <li>●企業向け外国人労働者受入セミナー</li> <li>●企業向け障がい者雇用促進セミナー</li> </ul> <p>(3)働き方改革やデジタル化を契機とした柔軟な働き方促進と企業の生産性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●働き方改革推進企業応援事業(1,720千円)</li> <li>●中小機構との連携による中小企業大学校サテライトゼミセミナー(194千円)</li> </ul>	
事業の概要(経費内訳)			
<p>(1)女性人材の掘り起こし・女性が輝き活躍できる場を創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●働く女性の活躍応援事業(7,000千円)</li> <li>●女性が活躍できる環境支援事業(940千円)</li> </ul> <p>(2)多様な働く場の創出によるインクルーシブな社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人材確保支援事業(4,000千円)</li> <li>●高齢者活用のための人材確保支援事業(996千円)</li> <li>●従業員スキルアップのための研修費等を支援する補助金(1,197千円)</li> <li>●人材確保のためのサイト運営事業(1,700千円)</li> <li>●企業向け外国人労働者受け入れセミナー(500千円)</li> <li>●企業向け障がい者雇用促進セミナー(500千円)</li> </ul> <p>(3)働き方改革やデジタル化を契機とした柔軟な働き方促進と企業の生産性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●働き方改革推進企業応援事業(1,720千円)</li> <li>●中小機構との連携による中小企業大学校サテライトゼミセミナー(194千円)</li> </ul>			

## 2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

### (1)KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和4年度)	実績値(増分) (令和5年度)	目標値(増分) (令和5年度)
①	多様な人材を積極的に受け入れる事業者数	社	56	7	10	20
②	事業を通じて採用された多様な人材の人数(女性・障がい者・高齢者・外国人)	人	0	68	26	20
③	事業への参画によって、就労意識が向上した求職者数	人	0	22	11	15

### (2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に効果があった。	理由	働く意欲のある女性や高齢者等を対象としたセミナーの実施や、事業者に向けた職場環境改善や多様な人材の確保等に係るセミナーの実施に加えて、求職者と企業との交流会等を効果的に開催することで、多様な人材の就労促進、事業者の職場環境整備や多様な人材の採用における機運の醸成につながった。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	事業者の人手不足が深刻化していく中、人手不足解消と多様な人材が安心して働ける雇用の場の創出を目的として、引き続き、セミナーや交流会を実施すること、また、事業者に対する職場環境改善支援に取り組むことに加え、多様な人材の採用に積極的な事業者の魅力発信等を進めていく必要がある。

「女性活躍推進を軸とした誰もが輝ける多様な職場づくり重点プロジェクト」の概要

<女性人材の掘り起こし・女性が輝き活躍できる場の創出>

●働く女性の活躍応援事業

・山口市女性しごと応援プログラム「私らしく HATARAKU 計画」

女性が働くことを前向きに捉え、それぞれの希望をかなえて「自分らしく」働くための第一歩を支援するとともに、誰もが生き生きと働ける地元企業の職場環境づくりに取り組む事業。

1 女性向け支援

「多様な働き方や働く場を学ぶセミナー」

育児や介護などの理由で離職した女性や、長時間の就労ができない女性人材の就職に向けた第一歩を支援するため、子育て中の女性人材等が興味を持って参加できるような様々な内容や、場所を活用して、未就労の女性人材の就労意欲を高める目的のセミナーを実施した。

【参加者数】31名



「就労や正規雇用化を目指すためのスキルアップセミナー」

仕事と家庭・育児・介護等との両立を希望する女性が、就職・転職や、正規雇用化を目指す際に自信を持って就職活動に臨めるよう、基礎的かつ実践的なビジネススキルの習得・向上を目的としたセミナーを実施した。

【参加者数】35名



「男性の育児休業取得や家事・育児参画促進を啓発するセミナー」

性別による役割分担意識を解消し、男性の家事・育児への参画促進や育児休暇取得の促進を目的として著名人による家庭における家事・育児をテーマとしたトークショーを実施。

【参加者数】85名



2 企業向け支援

「女性従業員向けステップアップセミナー」

中小・小規模事業者における女性従業員を対象とし、女性が働きやすい職場環境づくりを見つめなおし、今後の就労環境向上のための学びと、各企業の現状や、独自の取組などの情報交換を促すことで、横のつながりの創出や、自社を客観的に見つめなおし従業員の離職防止につなげるための、グループワークを含めたセミナーを実施。

【参加者数】5社



「女性活躍促進のための職場環境改善セミナー」

経営者・人事担当者・リーダー社員等を対象とし、男女ともにワーク・ライフ・バランスがとれた働き方の啓発を目的とし、女性活躍推進のための職場環境改善についてのセミナーを実施。

【参加企業数】5名



### 3 企業と求職者の交流会

#### 「やまぐちジョブカフェ」

仕事のブランクや子育てとの両立、自分に合った働き方などの悩みを気軽に企業に相談できる、「働くチャンスを探す女性」と「女性が活躍できる企業」との出会いの場となる交流会を実施した。

【求職者数】14名

【企業数】10社



#### ●女性が活躍できる環境支援事業

##### ・山口市女性活躍職場環境改善助成金

市内の中小企業を対象として、働く意欲を持つ女性が、能力を伸ばしながら生き生きと働ける職場環境の整備を目指し、事業者のトイレや更衣室等の施設改修や意識啓発などの取組を支援した。

【助成限度額】30万円

【助成率】1/2

【補助件数】5件



### <多様な働く場の創出によるインクルーシブな社会の実現>

#### ●人材確保企業支援事業

##### ・「企業向け人材確保採用力アップセミナー」の実施

人材確保を課題とする山口県央連携都市圏域内(以下「圏域内」という。)の企業に対して、採用力向上のために有用な情報の提供や現状の改善を啓発するセミナーを実施した。

【参加企業数】31名



##### ・「就活リスタートセミナー」の実施

就職氷河期世代を始めとした正社員への転換を目指す労働者や転職を考えている労働者、離職中の方を対象に、就活基礎講座」及び「スキルアップ講座」を開催した。

【参加者数】13名



##### ・圏域内企業との交流会の実施

最終的に企業と労働者の間での雇用のミスマッチが生じない就職に結びつけることを目的とし、人材確保に積極的に取り組む圏域内の企業と、本事業において正社員になるためのスキルを身に着けた正社員希望の労働者等との交流会を実施した。

【参加者数】10名

【参加企業数】11社



## ●高齢者活用のための人材確保支援事業

### ・「アクティブシニア向けセカンドライフ応援セミナー」の実施

55歳以上の高齢者がこれまでの経験を活かし、生涯現役で活躍できる社会の実現のため、現在未就労の元気な高齢者(アクティブシニア)を対象に就労意欲を喚起するセミナーを実施した。

【参加者数】39名

### ・アクティブシニアと企業との面談会の実施

働く意欲と元気のある高齢者と、人材確保に取り組む地元企業との面談会を実施した。

【参加者数】20名

【参加企業数】29社



## ●従業員のスキルアップのための研修費等を支援する補助金

### ・山口市中小企業人材育成応援補助金

企業の既存の従業員の育成や職場定着につなげるため、業務上必要なスキル取得やリカレント教育に係る研修費や講師料の一部を支援した。

【助成限度額】従業員1人につき5万円、1企業につき20万円

【助成率】1/2

【補助件数】17件



## ●人材確保のためのサイト運営事業

### ・山口市中小企業採用情報 Web 発信事業費補助金

人材の採用・定着を目的とした企業情報の発信のために開設するホームページの製作または改修などに必要な費用の一部補助を実施した。

【助成限度額】10万円

【助成率】1/2

【補助件数】12件

### ・やまぐち仕事応援サイトコンサルタント事業

求職者が働くイメージを想像するための市内企業の情報を、取得しやすく、また市内中小企業の認知度を高め人材の確保に寄与するため開設した「やまぐちしごと応援サイト」において、企業紹介動画、体験動画やセミナー情報の掲載更新、アクセス傾向などのデータ分析を実施した。



●企業向け外国人労働者受け入れセミナー

外国人雇用に関する基礎知識の習得と、多様な働き手のひとつである外国人材の雇用を通じた企業価値の向上による雇用の促進するために、第一部「外国人材」受け入れプランニングセミナー、第二部「県内企業2社の事例紹介」の2部構成で、企業向けセミナーを実施した。

【参加企業数】9社



●企業向け障がい者雇用促進セミナー

障がい者雇用のメリット方法論だけでなく、雇用の選択肢を広げ、自社の戦力となる人材に出会う場として、障がい者雇用の事例紹介と、参加企業と就労支援事業所によるワールドカフェ形式による意見交換会を実施した。

【参加企業数】14社

【参加就労支援事業所6者】



<働き方改革やデジタル化を契機とした柔軟な働き方促進と企業の生産性向上>

●働き方改革推進企業応援事業

働きやすい職場環境づくりやテレワーク・リモートワーク等による多様な働き方の導入など、働き方改革を啓発するセミナーを圏域内の企業を対象として実施した。

【参加企業数】第1回14社、第2回16社、第3回14社



●中小機構との連携による「中小企業大学校サテライトゼミの実施

中小機構との連携による「中小企業大学校サテライトゼミ」計2回を実施した。

第1回「中小企業における人材育成の考え方と進め方」

【参加者数】8名

第2回「魅力を伝えて営業と連携する自社サイト活用術」

【参加者数】6名



# 関係人口の創出による農山漁村エリア活性化プロジェクト

## 1 事業の概要

所管課	農林水産部農山村づくり推進課	計画期間	令和4年4月 - 令和9年3月
交付金の種類	デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ)	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
基本目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる	基本目標	誰もが安心して働くことのできる「しごと」をつくる
具体的な施策	21地域づくりと農山村活性化	具体的な施策	若者活躍と雇用創出の環境づくり
具体的な取組	農山村エリアの地域活性化	具体的な取組	多様な雇用の場の創出
基本目標		基本目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>本市の農山村エリアの地域資源を活用し、新たな人の流れを呼込むため、地域外からの観光交流や地域のファンを増やす交流人口の増加に向けた取組や、移住・定住促進の取組を強化する。また、交流から定住へとつなげるため、新たに「関係人口」の創出に向けた取組を進める。併せて、農山村エリアの基幹産業である農林水産業の振興を図ることで、農山村エリアにおける就業の場を確保する。</p> <p>こうした取組を進めることで、農山村エリアの人口減少に歯止めをかけ、地域課題の解決や地域活力の向上につなげ、元気な農山村エリアの実現を目指す。</p>		<p>(1)地域資源を活用した交流人口の拡大 ・地域資源を活用した美食ツアーや歴史探訪ツアー、アウトドアツーリズム、その他イベントの開催支援 ・農林水産物の販売イベント「あぐまるやまぐち」の開催や、農山村エリアにおける起業・創業、新規事業開拓への支援 ・重源の郷体験交流公園や道の駅の機能強化に向けた取組の実施</p> <p>(2)関係人口の創出、移住・定住の取組による持続可能な農山村エリアの形成 ・関係案内人の育成や地域の関わりしるの体験プログラムの開催 ・移住定住の促進に向けたプロモーション活動(移住フェアやガイドブックの発行、ウェブサイト「すむむ山口」やSNSでの発信等 ・空き家・空き地バンク制度の運用や、空き家を活用した交流事業の開催にかかる支援</p> <p>(3)農林水産業の振興 ・スマート農機導入に向けた支援や、山口大学と連携した実証実験の実施 ・省力化につながる農業用施設や農機具の導入に向けた支援 ・道の駅の出荷量増加に向けた野菜等栽培に係る講習会開催 ・やまのいもや椎茸の担い手育成に向けた取組の支援</p>	
事業の概要(経費内訳)			
<p>(1)地域資源を活用した交流人口の拡大(45,238千円) (2)関係人口の創出、移住定住の取組による持続可能な農山村エリアの形成(22,615千円) (3)農林水産業の振興(29,883千円)</p>			

## 2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

### (1)KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和4年度)	実績値(増分) (令和5年度)	目標値(増分) (令和5年度)
①	本事業を通じて農山村エリアへ移住した人数	人	198	36	24	12
②	農山村エリア等における人口の転出超過の抑制 (農山村エリア等の社会動態)	人	-208	193	66	40
③	関係案内人の育成数	人	0	0	3	0
④	農山村エリア(過疎地域)の交流人口	人	701,923	69,593	-21,088	40,000

### (2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に非常に効果があった。	理由	観光施設の一時休園などにより、KPI④「農山村エリア(過疎地域)の交流人口」の目標値を達成することができなかったものの、本事業の取組により、KPI①～③は目標値を達成し、農山村エリアへの転入超過につながった。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	歴史文化施設や観光施設のリニューアル、都市農村交流イベント等の開催等により、更なる地域資源の魅力化を図り、関係人口の創出拡大や移住・定住を促進し、持続可能な農山村エリアの形成を目指す。

## 「関係人口の創出による農山村エリア活性化プロジェクト」の概要

### <交流人口の拡大>

#### ●地域資源を活用した交流の創出

- ・南部地域魅力創出活用事業

【ツール・ド・ヤマグチ湾の開催支援】

山口湾の穏やかで美しい海浜風景や県下有数の穀倉地帯として有名な田園風景など、本市の南部地域が有する風光明媚な景色や、この地域で育まれた特産物や地元グルメが楽しめるサイクルイベント「ツール・ド・ヤマグチ湾2023」の開催を支援した。

開催日:令和5年10月1日(日)

参加者数:255人



#### ●都市農村交流の促進

- ・農林水産物を活用した情報発信事業

【あぐまるやまぐちの実施】

新山口駅等において、市内産農林水産物の定期的な販売イベント「あぐまるやまぐち」を実施した。対面販売を通じて、生産者や加工業者と消費者である山口市民を直接つなぎ、市内産農林水産物の認知度を高めるとともに、都市部との交流機会の創出や交流人口の増加を図った。



開催期間:令和5年4月16日～令和6年3月24日(15回)

開催場所:新山口駅、中心商店街、KDDI 維新ホールなど



・ 農山村ビジネス創出支援事業

【農山村地域活性化ビジネス支援事業】

農山村エリアの地域資源を活用し、地域における雇用や地域内への経済波及効果の創出、地域課題の解決など地域の活性化を図る事業に対して支援を行った。

審査委員会の開催:2回

認定事業:3事業 (21,137千円)

事業者名	事業名	地域
株式会社 IOWE 江口 裕	IOWE Marina (マリンアクティビティ事業)	秋穂
河上 敦	徳地のサウナ拠点整備事業	徳地
特定非営利活動法人山口サッカー 夢プロジェクト 山下 正信	秋穂中道ビーチ施設の整備事業	秋穂



<関係人口の創出、移住・定住の取組による持続可能な農山村エリアの形成>

●関係人口創出促進事業

・企業と地域の関わり方プログラムのパッケージ化事業

【やまぐちローカルビジネススクール2023】

農産村エリア等の生産者や事業者、起業予定者、大学生等を対象に、地域の実情に詳しい現役ローカルプレイヤー等を講師に招き、ローカルならではの経営理念や手法を共に学び、参加者同士や講師との相互連携を深めた。



実施日	テ ー マ	参加者数
10月27日	キックオフセミナー／事業説明会 「地域で事業を創る・伸ばすために必要なこと」	29名
11月10日	第1回講座 マーケティング「マーケティングの超基本」	24名
12月1日	第2回講座 ブランディング「わたしのブランディング」	24名
12月15日	第3回講座 商品開発・販路開拓「地域発商品の可能性」	23名
1月19日	第4回講座 広報PR「今日から始める情報発信」	26名



●移住・定住の促進に向けた取組

・移住者の定着化や定住実現に向けたプロモーションの取組

【やまぐち定住実現プロモーション事業】

都市部の住民の地方移住への関心が高まる中、移住や移住者の就労に関する情報をまとめたガイドブックや SNS 等を活用した情報発信などのプロモーションを実施するとともに、大都市圏で開催される移住希望者向けのフェアやセミナーへ参加し、移住相談を行うことにより、移住促進を図った。

【フェア等参加回数】 9回(東京 6 回、大阪2回、福岡1回)

【フェア等相談対応件数】 74組83名



## <農林水産業の振興>

### ●経営基盤の強化と担い手の育成

- ・スマート農機の導入促進

#### 【スマート農機等の導入】

農業従事者の高齢化に伴う労働力不足の課題解決及び農業経営の効率化や生産性向上を図ることを目的として、地域農業の中心となる認定農業者又は農地所有適格法人が行う ICT や AI、ロボット技術等の先端技術を活用したスマート農業技術を導入する取組に対し、支援を行った。

支援対象経営体数:9経営体

導入スマート農機:高性能田植機 3台

直進アシスト機能付トラクター 3台

食味収量センサー付コンバイン 1台

ハウスモニタリング装置・環境制御システム 1台

農業用ドローン 1台



#### 【スマート農業機器・技術導入に関する実態調査】

山口大学と連携し、本市の農業におけるスマート化の実態を把握し、生産者が必要と考えるスマート化の現状と課題について調査を行った。さらに、無線通信デバイスとセンサデバイスを融合させた無線センサネットワークシステムの構築について、実証を行った。



▶温度・湿度・気圧・照度を測定し、無線通信により親機にデータを送信する装置

# 「山口ゆめ回廊」観光を基軸とした交流価値共創プロジェクト ～観光交流から移住・定住へ～

## 1 事業の概要

所管課	交流創造部観光交流課	計画期間	令和4年4月 - 令和9年3月
交付金の種類	デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ)	単独事業と 広域事業の別	広域 (山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、 島根県津和野町)
基本目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成	基本目標	
具体的な施策	元気な県都づくり	具体的な施策	
具体的な取組	広域県央中核都市づくり	具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>新型コロナウイルス感染症の流行以降の人々の意識の変化やデジタル化の進展などの社会の変化を踏まえ、新しい旅のスタイルであるテレワーク、ワーケーション、ブレイジャーなどへの対応や、「KDDI維新ホール」等を活用したMICE誘致によるビジネス誘客、インバウンド誘客の推進などに取り組むことで、交流人口の回復と更なる拡大につなげるとともに、山口県央連携都市圏域を構成する7市町と連携し、より質の高い観光地域づくりを行うことで、観光目的地として選ばれる「山口ゆめ回廊」の実現を図る。</p> <p>また、こうした観光客を始めとした交流人口について、新たな交流への深化・交流の質的転換を図る取組を展開することで、地域との関わり合いや地域づくりへの参画を求める「関係人口」の創出や、移住・定住につなげていく。</p>		<p>(1)-① 新しい生活様式や行動様式等社会変化に対応した新たな人流創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7市町消費喚起型周遊促進「リアル宝探し」イベント</li> <li>・7市町住民向け周遊促進キッズサマーパス</li> <li>・7市町食の周遊促進事業 7市町の食のコンテンツの魅力発信</li> <li>・「山口ゆめ回廊」着地型観光を生かした交流人口拡大事業</li> <li>・7市町の特性を生かしたインバウンド個人旅行向け商品造成・誘客促進事業</li> <li>・デジタルプロモーション・マーケティング観光DX事業 等</li> </ul> <p>(1)-② KDDI維新ホール等を活用した新たな交流創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を生かしたビジネス誘客・交流創出事業</li> <li>・大内文化ゾーンプロジェクションマッピング「昇華-shoka-大内文化」</li> <li>・山口ゆめ回廊</li> <li>・山口市着物DEお散歩(一の坂川～中心商店街)</li> </ul> <p>(2) 住んでよし、訪れてよしの観光地域づくりを通じた多様な交流創造事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR山口線を活用した利用促進に繋がる取組</li> <li>・圏域内大学連携による観光キャンペーン推進事業</li> <li>・二次交通対策地域交通事業者連携事業</li> </ul> <p>(3) インバウンド誘客から創出する「まちの賑わい」創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド観光大使委嘱、活用PR</li> <li>・自治体間観光交流パートナー協定に基づく誘客連携促進・交流創出事業</li> </ul>	
事業の概要(経費内訳)			
<p>(1) 新しい生活様式や行動様式等社会変化に対応した持続可能な新たな交流の創造【73,323千円】</p> <p>(1)-① 新しい生活様式や行動様式等社会変化に対応した新たな人流創出(31,192千円)</p> <p>(1)-② KDDI維新ホール等を活用した新たな交流創出(42,131千円)</p> <p>(2) 住んでよし、訪れてよしの観光地域づくりを通じた多様な交流創造事業【65,146千円】</p> <p>(3) インバウンド誘客から創出する「まちの賑わい」創出事業【31,070千円】</p>			

### 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

#### (1) KPIの達成状況

KPI項目		単位	事業開始前	実績値(増分) (令和4年度)	実績値(増分) (令和5年度)	目標値(増分) (令和5年度)
①	MICE誘致件数	件	42	114	143	30
②	着地型観光プログラム造成件数	件	0	20	29	14
③	外国人観光客数	人	24,164	1,277	101,081	24,164

#### (2) 評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由	<p>新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、外国人観光客の入国制限が解除されたことに加え、本事業におけるターゲット国への効果的な誘客プロモーションを実施したことで、外国人観光客の誘客拡大につながった。</p> <p>また、「KDDI維新ホール」を活用したMICE誘致活動の強化や、山口市ならではの着地型観光プログラムの造成など、本市の魅力を生かした幅広い事業展開により、KPIを達成することができた。</p>
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	<p>交流人口の拡大による地域経済活動の活性化を目指し、多様化する旅行スタイルやニーズを踏まえた更なる誘客、交流人口の拡大に取り組む。また、2025年の大阪・関西万博や2026年の山口デスティネーションキャンペーンの開催を見据え、第2期山口県央連携都市圏域ビジョンに基づく7市町の連携を生かしながら、国内大都市圏やインバウンドの誘客拡大に取り組むことで、持続可能な観光地域づくりを進める。</p>

『山口ゆめ回廊』観光を基軸とした交流価値共創プロジェクト  
～観光交流から移住・定住へ～の概要

(1)新しい生活様式や行動様式等社会変化に対応した持続可能な新たな交流の創造

(1)－① 新しい生活様式や行動様式等社会変化に対応した持続可能な新たな人流創出

●7市町消費喚起型周遊促進「リアル宝探し」イベント

7市町に設置された宝箱を探し、地域内の観光地等を周遊するイベント。  
開催期間 令和5年7月21日～11月26日  
参加者数 約20,500人  
経済効果(推定) 約35,200千円(参加者アンケートより)



●7市町住民向け周遊促進キッズサマーパス

圏域内対象18施設において、夏休み期間中、圏域住民の小人料金の減免を実施。  
開催期間 令和5年7月21日～9月3日  
利用者数 1,864名  
・同時開催:デジタルスタンプラリー(キッズサマーパス対象施設)  
参加者数 448名



●7市町食の周遊促進事業 7市町の食のコンテンツの魅力発信

○食の周遊促進instagram「7ちよる」の運用 (令和4年8月5日～)



「7ちよる」の主要成果 \*ゆめはくinstagram(フォロワー数約200件)のアカウントを継承。(R6.3.7時点)  
▽フォロワー数:2,315人      ▽投稿数:286  
▽総リーチ:438,428人  
▽フォロワーの居住地域:①山口市②宇部市③防府市④広島市⑤大阪市

・「食関連イベント」情報の発信

7市町の観光部局・コンベンション協会が主催する食事業を始め、各市町観光協会会員・民間事業者のイベント紹介を実施。

・「食の周遊マガジン」の発信

2つの市町をまたぐ食の“周遊プラン”を7回企画し、実際にInstagramインフルエンサー2名がその実体験を投稿。よりリアルな食による周遊とその魅力を伝えた。

・「食の周遊」プレゼント(LINEクーポン)企画

上記の「食の周遊マガジン」の実際の周遊顧客を増やすために、“周遊プラン”に含まれる飲食店や店舗のデジタルクーポンが抽選で当たる企画。応募はLINE経由(山口カレンダー公式LINE)で実施。

○7市町ビュッフェ開催

7市町の食材を使った新ご当地グルメを開発し、お披露目としてビュッフェを開催。  
日時:令和5年11月23日 12:00～14:00  
場所:山口グランドホテル(山口市)  
7市町食材の使用数:30品、開発メニュー数:22  
参加者:大人115人、子ども(4～12歳)13人、子ども(3歳以下)9人



## ●「山口ゆめ回廊」着地型観光を生かした交流人口拡大事業

山口ゆめ回廊博覧会を契機として生まれた着地型観光プログラム「ゆめ散歩」を軸に、国内外からの更なる来訪者拡大を図るため、プログラム開発、ブラッシュアップに取り組むもの。

【参画事業者数：29団体(山口市5、宇部市4、萩市6、防府市2、美祢市4、山陽小野田市4、津和野町4)】

### ○新たな参画事業者の発掘・確保・管理

参画を希望する事業者並びに7市町による推薦事業者に対して、ヒアリング等を実施し、計9組の新たな参画事業者を確保した。(宇部市1、萩市3、防府市1、美祢市2、山陽小野田市1、津和野町1)

### ○参画事業者の交流イベントの企画・実施

事業者間のコミュニティづくりを目的とした研修交流会を開催。当日は、株式会社リクルート中四国グループから講師を招聘し、OTAに掲載する上でのポイントや成功事例等に関する研修を実施。

【実施日 令和5年8月1日～2日、参加者 18名(15団体)】

### ○着地型観光プログラムの本格的な始動に向けたプレ実施

企画構成や当日運営、関係人口や将来的な移住・定住人口につなげていくためのノウハウ獲得や圏域内における新たなコンテンツに対する理解促進を目的に、各市町1事業者がプレ実施を行った。

## ●7市町の特性を生かしたインバウンド個人旅行向け商品造成・誘客促進事業

インバウンド客の関心が高い7市町の「酒」や宇部市「エヴァンゲリオン」等、各市町が持つ観光コンテンツを用いたツアー造成のほか、山口宇部空港チャーター便利用商品や釜関フェリー利用商品を造成、販売。あわせて着地型プログラムを販売したところ、申込につながった。

【訪問者数 3,382人、宿泊者数 209人泊】

## ●デジタルプロモーション・マーケティング観光 DX 事業

Instagram「山ちよる」を活用して、1to1でつながるSNS機能を生かした顧客個人ニーズの把握と、ニーズを踏まえた本市への誘客情報の発信を実施。市内で起こっている出来事(官民イベント)を発信し、何度も訪れたいくなる山口市を目指し投稿。

また、山口市内で「いつ」「どこで」「どんなイベント」があるかカレンダー形式で分かるwebサイト「山口カレンダー」を開設し、市民や旅行者の「ニーズ」「興味」「属性」にあった情報を検索できることとした。

### Instagram「山ちよる」の主要成果 (R6.3.17時点)

- ▽フォロワー数 7,878人
- ▽投稿数 フィード213回/リール38回
- ▽総リーチ数 184,684/年
- ▽総インプレッション数 1,400,306/年



### 山口市内の官民イベント情報をカレンダー化



(1)－② KDDI維新ホール等を活用した新たな交流創出

●地域資源を生かしたビジネス誘客・交流創出事業

市内MICE会場(KDDI維新ホール、ユニークバニユー会場等)を生かしたビジネス誘客、交流創出。

MICE 誘致件数 185件

延べ来場者数 158,169人 (参考:令和4年度 134件 70,211人)



●本市を拠点にした守護大名大内氏の美しき歴史遺産を生かした歴史文化ブランディング事業

○大内文化ゾーンプロジェクションマッピング「昇華-shoka-大内文化」

令和の大改修中である国宝瑠璃光寺五重塔を覆うデザインシートを用いて、大内氏の歴史と思想を表現した映像や、山口に来訪した大内氏にゆかりのある歴史上の人物を彷彿とさせる映像で構成されたプロジェクションマッピングを実施。開催中の空間アートプログラム「大内文化 思想をめぐる道」のエリアも合わせてライトアップされ、香山公園を一体的に幻想的な空間にする演出を行った。  
期間 令和6年1月19日～3月31日



○山口ゆらめき回廊【来場者数 1日開催 約2,800人(参考:令和4年度 2日間で約3,800人)】



○山口敷物DEお散歩(一の坂川～中心商店街)【参加者数:581名(参考:令和4年度 404名)】



## (2)住んでよし、訪れてよしの観光地域づくりを通じた多様な交流創造事業

### ●JR山口線を活用したJR利用促進に繋がる取組

JR山口線全線開通100周年記念事業(新山口駅～益田駅)として、四季に応じて特別列車(観光列車)の運行を始めとした観光ツアーや、JR山口線を活用した周遊イベント等、特別感を創出するテーマ性を持った取組を実施。

○【夏季】夏休み自由研究 3市まるごと体験ツアー  
令和5年8月18日(金)～20日(日)、参加者数 21名

○【秋季】婚活・恋活ツアーin 山口・津和野・益田  
(山口線において初の運行となった観光列車「〇〇のはなし」を活用)  
令和5年11月25日(土)～26日(日)  
参加者数 25名(男性12名、女性13名)

○【冬季】鉄道すごろくin山口・津和野・益田  
令和6年3月2日(土)～3月3日(日)、参加者数 16名



### ●圏域内大学連携による観光キャンペーン推進事業

山口市観光アンバサダーを活用したPR。【令和5年 任命7名】

【令和5年度主な活動実績】

- ・レノファ活性化楽援(大分)
- ・ワイルドバンチフェス
- ・おはら祭り(鹿児島) など



### ●二次交通対策地域交通事業者連携事業

湯田温泉から大内文化ゾーンをつなぎ、周遊する山口市1日周遊乗車券の販売。

実施期間:令和5年7月～11月(土日祝日)

販売実績:234件



### (3)インバウンド誘客から創出する「まちの賑わい」創出事業

#### ●インバウンド観光大使委嘱、活用PR

令和5年 委嘱者数:28名

(中国8名、韓国2名、インドネシア4名、バングラデシュ3名、ベトナム1名、ネパール2名、ラオス6名、ケニア2名)



#### ●自治体間観光交流パートナー協定に基づく誘客連携促進・交流創出事業

「美祢市・山口市観光交流パートナー協議会」の事業の一環として、美祢市・山口市を始めとする山口県の認知度向上やインバウンド事業において重点ターゲット地域のひとつと位置付け、これまでも交流を進めてきた台湾からの旅行者の誘致につなげる取組を実施。

日時 令和5年11月2日(木)～11月5日(日)

会場 台湾 台北市内

内容 (1)「2023台北温泉祭り」における、開幕式セレモニー、神輿パレード等への参加

(2)イベント開催中における観光プロモーションブースの出展(2日間)

- ・市長のトップセールス(観光PR、日本酒等紹介)
- ・山口市(美祢市)の日本酒等試飲によるPRブース
- ・観光PRブース(パンフレット配布、旅行商品の紹介、アンケート実施等)



# 徳地地域活性化プロジェクト「重源の郷体験交流公園」整備計画

## 1 事業の概要

所管課	交流創造部観光交流課	計画期間	令和5年4月 - 令和6年3月
交付金の種類	デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生拠点整備タイプ)	単独事業と 広域事業の別	市単(山口市)
基本目標	地域の特性に応じた持続可能な都市圏・生活圏の形成	基本目標	山口の魅力に磨きをかけ、新たな「ひと」の流れをつくる
具体的な施策	元気な県都づくり	具体的な施策	21地域づくりと農山村活性化
具体的な取組	広域県央中核都市づくり	具体的な取組	農山村エリアの地域活性化
基本目標		基本目標	
具体的な施策		具体的な施策	
具体的な取組		具体的な取組	
事業の概要(目的)		事業実施の状況	
<p>本市の中山間地域に立地する「重源の郷体験交流公園」について、「花づくし・旨いものづくし・心づくし」のコンセプトのもと、徳地地域の強みとなる「景観、自然、食、体験」など、中山間地域ならではの豊かな資源を活用した観光・交流拠点として整備することで、交流人口の増加と地域経済の活性化を図る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■庄屋(屋内改修)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元産農産物・特産品を活用するレストランススペースの改修</li> <li>・カフェ機能を付与するための改修</li> <li>・地元農産物を活用した特産品・加工品等の物販機能を付与するための改修</li> <li>・利用者の利便性向上に向けたトイレの洋式化改修</li> <li>・施設職員の雇用増加に対応するための事務室の改修</li> </ul> </li> <li>■釣り堀横建屋(改築)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽飲食、テイクアウト提供機能等を付与するための改修</li> </ul> </li> <li>■重源の郷体験交流公園内の花木等の再生                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の自然景観の魅力をもっと向上させるために必要となる花木等の再生整備</li> </ul> </li> <li>■デジタル技術の活用を促進するための施設の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該施設で利用することができるWi-Fi環境の整備</li> </ul> </li> </ul>	
事業の概要(経費内訳)			
<p>重源の郷施設改修事業費 216,280千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■重源の郷体験交流公園における中心的な施設「庄屋」の改修整備(141,764千円)</li> <li>■「庄屋」に近接する釣り堀横建屋の改修整備(46,018千円)</li> <li>■花木等の景観の再整備(20,074千円)</li> <li>■Wi-Fi環境の整備(8,424千円)</li> </ul>			

## 2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況

### (1)KPIの達成状況

KPI項目		単位		事業開始前	実績値(増分) (令和5年度)	目標値(増分) (令和5年度)
①	「重源の郷体験交流公園」の売上額	千円	-	19,971	0	0
②	「重源の郷体験交流公園」の来場者数	人	-	15,970	0	0
③	徳地地域の観光客数(「重源の郷体験交流公園」を除く)	人	-	21,637	0	0

### (2)評価

本事業の実施状況について			
事業効果	本事業は地方創生に相当程度効果があった。	理由	中山間地域に立地する当該施設のリニューアル整備に当たっては、潜在的顧客ニーズを踏まえながら、地域内の事業者と連携した取組が展開可能となる環境整備を行うことができたため。
実績値を踏まえた事業の今後について			
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。	理由	本施設の整備段階から構築してきた地域内の事業者との連携体制を生かし、令和7年春(予定)の「重源の郷体験交流公園」のリニューアルオープンによる誘客効果を、広く徳地地域内の観光施設や飲食・物産店へと回遊させることで、徳地地域全体の地域経済の活性化につなげる。

「徳地地域活性化プロジェクト『重源の郷体験交流公園』整備計画」の概要

<重源の郷体験交流公園施設改修事業費>

徳地地域全体への誘客促進、観光がもたらす波及効果の創出に向け、外部人材の活用等により実施した潜在的ニーズ把握等調査研究の結果を参考に策定した基本計画をもとに、施設のリニューアル整備を行った。

●庄屋(飲食スペース「花ひとえ」)のリニューアル整備

- ・消費拡大に向け、古民家空間の雰囲気を維持しつつ、手狭だった飲食スペースを拡張。
- ・施設の特徴である花木景観を楽しめるカフェ機能を付与し、憩いの空間としての機能強化を図った。
- ・地域全体への波及効果の創出に向け、地元産にこだわった特産品、加工品等の物販スペースを整備した。
- ・来場者の利便性の向上に向けて、トイレの様式化を行った。



●釣り堀横建屋の改築

- ・施設の自然空間を食とともに楽しむことができるよう、軽飲食、テイクアウト提供機能を整備した。



●花木植栽再整備

- ・施設コンセプトの「花づくし」を表現するため、繁茂する花木の間伐と四季を意識した花木植栽再整備を行った。



●Wi-Fi環境の整備(デジタル技術の活用)

- ・来場者の利便性を向上させるとともに、施設内でのキャッシュレス決済や飲食メニューのモバイル注文への対応など、スタッフの省力化を見据え、施設内のWi-Fi環境整備を行った。

